

知的財産法 I

科目ナンバリング NFL-201
選択 2単位

徳力 徹也

1. 授業の概要(ねらい)

知的財産法(主として特許法、実用新案法及び意匠法)の概要について、具体的事例を通じて説明します。課題に係る回答を通じて、適宜、みなさんに議論していただきます。

2. 授業の到達目標

①本講義は、特許法等について、「法学の各分野における基本的な知識を有し、その分野の全体像を見渡したうえで、論点を把握することができる」ようになることを目標とします。

②各受講生において、特許法等の基本的考え方＝「どのような発明が何故保護されるのか」「どのような行為がどのような場合に侵害行為になるか(その理由)」などを概ね理解し、実際の事例の検討の方向性を見いだして、他者に説明できるようになることを目標とします。

3. 成績評価の方法および基準

基本的に期末試験結果(50%)、課題提出・小テスト・授業での発言等(50%)に基づき評価します。

(専らオンライン授業となった場合、期末試験を行わず、オンラインでの課題提出状況・小テストに基づき評価します。)

4. 教科書・参考文献

教科書

なし

参考文献

なし

5. 準備学修の内容

各講義のレジメを配布・LMS掲載するので、当該レジメを読んでください。

レジメ記載の課題について、各自が検討し、レポート提出又は発表(適宜指名)してもらいます。

なお、新聞記事等を読むように努めてください(知的財産に関する記事等がたくさんありますから、注目してください。)

6. その他履修上の注意事項

法律の規定を知るのみならず、「何故、そのような取扱いになっているか(趣旨・目的)」などの問題意識を有して受講してください。

なお、講義中の私語を厳禁とします。

7. 授業内容

【第1回】 講義の概要・進め方

【第2回】 特許法①(概要)

知的財産保護の必要性・特許法は何を・どのように保護しているか?・保護される発明とは?

【第3回】 特許法②(どのような発明に特許権が与えられるか:特許要件)

【第4回】 特許法③(特許権はどのような権利か?特許権侵害はどのような行為か i : 文言侵害)

【第5回】 特許法④(特許権侵害はどのような行為か ii : 文言侵害・均等侵害)

【第6回】 特許法⑤(特許権侵害はどのような行為か ii : 間接侵害+事例検討)

【第7回】 特許法⑥(特許権侵害主張に対する反論:無効・先使用权・権利消尽等)

【第8回】 特許法⑦(事例を使った復習 i)

【第9回】 特許法⑧(事例を使った復習 ii : 最近の事例等)

【第10回】 意匠法①(概要/意匠とは、など)

【第11回】 意匠法②(意匠登録要件/意匠権侵害の概要)

【第12回】 意匠法③(意匠権侵害はどのような行為か/具体的な意匠権侵害事例の検討 i)

【第13回】 意匠法④(具体的な意匠権侵害事例の検討 ii)

【第14回】 意匠法⑤(意匠権侵害主張に対する反論)

【第15回】 まとめと期末試験